

新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大に関する組合員の皆さんへのメッセージ

組合員の皆さん 日々の仕事に大変ご苦労されていることと、全国港湾の取り組みにご協力いただいていることに、あらためて感謝と敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的な感染拡大、パンデミックの進行に、日常業務だけでなく、命と暮らしへの不安が募る毎日をご過ごされていると思います。それは、全国港湾に結集するすべての仲間とその家族に共通するものです。

地球規模で動く、生活物資はじめ社会に供給される貨物の90%は海上運送が担っています。その貨物の安定的輸送、そして何よりも、医療機器をはじめとした感染拡大を防ぐ諸物資を目的地に届けるという、パンデミックとのたたかいに私たち港湾労働者は重要な役割を果たしています。

4月7日、政府は7都府県(東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪・兵庫・福岡)を対象に「緊急事態宣言」を発しました。これにより、多くの国民(市民)が、自宅待機やテレワークという状況になりますが、港湾労働者は新型コロナウイルスの危険にさらされながら港で働かざるを得ません。

全国港湾は、日港協や関係行政(国土交通省、厚生労働省)に対し、港湾労働者の安全確保を第一とした対策を求めた申入れを行っています。同時に、日々流動する事態に対応するため、組合員の皆様から「不安や要望」を週単位で集約して、これらを日港協や行政に提起していく取り組みを進めています。どのようなことでも結構ですので、全国港湾書記局に情報を寄せてください。全国の仲間が手を携え、職場・地域が一つになって、安全確保に努めたいと思います。

全国港湾は、仲間の命と暮らしが危険にさらされる事態を絶対に看過しません。そのために、情報を共有し、知恵と力を合わせて頑張りぬきましょう。

2020年4月7日

全国港湾労働組合連合会
中央執行委員長 糸谷 欽一郎